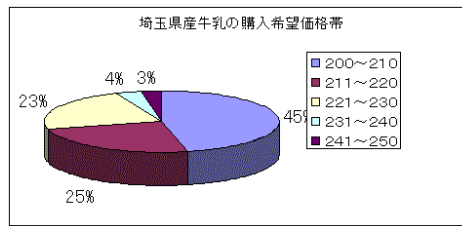
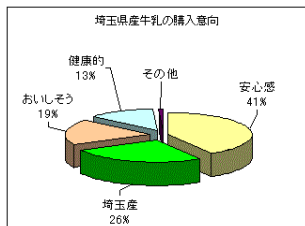
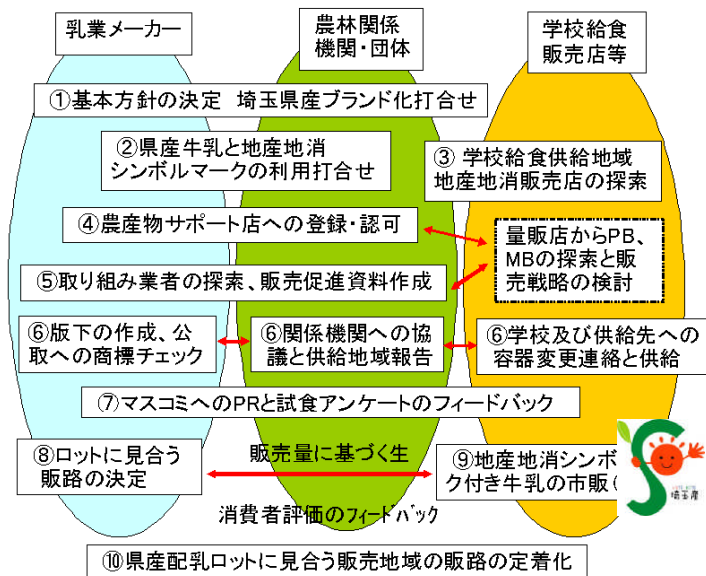


地場産の粗飼料や生乳産地を特色とする 「埼玉産牛乳」のブランド化

学校給食における地場産の使用割合を拡大することが求められています。そこで、地場産の粗飼料や生乳の生産地を特色とする「埼玉県産」牛乳をブランド化するため、ブランド形成のための手順を作成するとともに、地産地消販売ルートの確保、乳業会社による県産サポート店の登録、実需者・消費者ニーズに合った品質での安定供給などを実施し、学校給食用牛乳や地域の逸品として販路ルートを開拓した「埼玉県産牛乳」のブランド化モデルを実証しました。



牛乳に対する消費者の要望
「埼玉産」という安心感や
県産イメージによる県内消費
者の購入希望は70%弱でした。



土（水田）－草（飼料イネ）－家畜（牛乳生産）による資源循環型農業への取り組みを進めています。

左図のような、「埼玉県産」牛乳をブランド化するための手順を作成しました。

農業関係機関・団体と乳業メーカー、学校給食・販売店等と幅広く連携し、学校給食や地域の逸品などとして、安全・安心な埼玉県産牛乳の販路を開拓しました。



学校給食用牛乳として供給



県内L容器牛乳の販売